（別添資料１）

事業所名　児童発達支援リズムジカ

支援プログラム（参考様式）

作成日　令和7　年　4　月　1　日

法人（事業所）理念		関わるすべてのお子さまの個性及び可能性を尊重し、発達段階に応じた支援を提供することで、自分らしく成長し、自信をもって社会生活を営む力を育成する。 あわせて、保護者との連携を重視し、家庭環境に配慮した支援を行う。											
支援方針		リズムに着目した療育を支援の柱とし、リトミック・リズム運動・発語リズム等を取り入れたプログラムを提供する。 お子さま一人ひとりの発達段階や特性、抱える課題に応じ、楽しさを大切にしながら主体的な参加を促し、心身・言語・社会性の発達を総合的に支援する。											
営業時間		8	時	30	分から	17 (18)	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支　援　内　容											
本人支援	健康・生活	生活リズムや情緒の安定を大切にし、安心して過ごせる環境の中で支援を行う。 リズムを取り入れた活動を通して、身支度・休息・活動の切り替え等、日常生活に必要な基本的な生活習慣の獲得を促し、心身の健康の維持・向上を支援する。											
	運動・感覚	リズム運動や音楽活動を通して、身体の使い方やバランス感覚、協応動作の向上を図る。 感覚特性に配慮しながら、音・動き・テンポを活用した活動により、身体感覚や感覚統合の発達を促し、主体的な身体表現につなげる支援を行う。											
	認知・行動	リズムや繰り返しのある活動を通して、注意力・集中力・模倣力・理解力の向上を促す。 見通しを持って行動できるよう構造化されたプログラムを取り入れ、成功体験を積み重ねながら、適切な行動の獲得と自己調整力の育成を支援する。											
	言語 コミュニケーション	発語リズムや音楽的要素を活用し、発声・発語への意欲を引き出す支援を行う。 ことばだけでなく、身振り・表情・音・リズム等の多様な表現手段を大切にし、相手に伝える力、相手の意図を受け取る力の向上を支援する。											
	人間関係 社会性	集団でのリズム活動や音楽表現を通して、他者と関わる楽しさを感じられる経験を提供する。 順番を待つ、相手を意識する、気持ちを共有する等の体験を重ねながら、対人関係の基礎力や社会性の発達を段階的に支援する。											
家族支援		保護者の不安や悩みに寄り添い、発達特性や行動の背景について丁寧に共有を行う。 家庭での生活リズムやコミュニケーションの取り方について助言を行い、無理のない関わり方を共に考えながら、保護者の心理的負担の軽減と養育力の向上を支援する。								移行支援	お子さまの発達段階や将来の生活を見据え、次の成長段階や集団生活への円滑な移行を支援する。 保育所・幼稚園・認定こども園等の関係機関と連携し、支援内容や配慮事項を共有することで、環境の変化による不安の軽減と継続的な支援につなげる。		
地域支援・地域連携		地域の関係機関と連携し、お子さまの発達状況や支援上の配慮事項について共通理解を深める。 必要に応じて、会議や訪問等を通じた連携を行い、地域全体でお子さまの成長を支える支援体制づくりに努める。								職員の質の向上	内部研修や外部研修への参加を通じて、支援に必要な知識・技術の習得を図る。 また、日々の支援の振り返りやケース検討を行い、職員間で情報共有を行うことで、個々の支援力及びチームとしての支援力の向上を目指す。		
主な行事等		ハロウィン・クリスマス・親子向け研修、講習会など											